

目標を達成する喜びを感じて



一年中、全国各地の山を巡っている藤川さん。写真は飛騨山脈の杓子岳



山岳スキー競技日本選手権で7連覇を果たす



日本百名山を全踏破

登山愛好家なら誰でも憧れる日本百名山踏破。「日本百名山」出版50周年に当たる平成26年、連続登山に挑戦し33日間で達成した山岳スキーヤーで登山家がいる。北広島市出身の藤川健さんだ。

遅咲きのスキーヤー

「実は子どもの頃、体を動かすことが好きではなかったんです」と話す藤川さん。高校時代にスキーへの関心が高まり、本格的に競技に挑戦するようになったのは卒業後だった。冬はニセコのスキー場でパトロールをして、夏の間は季節が逆のニュージーランドで練習する生活を13年続けた。「自分は遅咲きのスキーヤーだったので、同じ年代の競技者に追いつくまで、他人の倍は練習をしなければと思っていました」。

その努力が、日本とニュージーランドでのテレマークスキースキーシリーズ総合優勝、山岳スキーレース日本選手権7連覇という輝かしい成績につながった。

山岳スキーヤー・登山ガイドとして活動

藤川 健さん

ふじかわ・けん
札幌市在住。
北広島市出身。東部小、東部中、北広島高校を卒業。その後は後志管内のスキー場に勤務した。
山岳スキー競技日本選手権で7連覇を達成した山岳スキー競技の国内第一人者。
現在、冬は札幌市中央区のスキー場でインストラクター、夏は山岳ガイドを行っている。

新記録を達成

山岳スキー競技を通して山の持つさまざまな表情にひかれ、平成21年に山岳ガイドになる。百名山踏破の際は事前にトレーニングを積み、天候を確認し、最低限の装備で出発。それまでの最短記録を15日も縮めた。

今年5月には、スキーで大雪山系の富良野岳から旭岳までの稜線約60キロを13時間半で縦走した。夏場なら4泊5日はかかるというわれるコースだ。

山を楽しむ

「道内にはスキーに適した山が多く、行こうと思えばすぐに出掛けられるので、もっと楽しんでほしいです。雪の降らない地方の人

から見ると、ぜいたくな環境なんです」。

一方で、山岳遭難の防止についてガイドとして考える。「インターネットで山の情報が簡単に得られますが、本当に自分の体力で大丈夫なのかは、行ってみないと分からないものです。体力に自信のない方は、山のことをよく知っている人と同行するよう勧めます」。

これからの目標

北広島の実家に帰った時は、周りでトレーニングをしているそう。市民の皆さんとイベントなどで触れ合う機会があれば、協力したいと考えている。

今後は、来年イタリアで開かれる山岳スキー競技世界選手権での上位入賞を目指す。「目標を定めて挑戦し、達成できた時には大きな喜びを感じます」と語る。

これからの新たな挑戦で、多くの人に感動を与えてほしい。

